

2.1 個別課題名 伊豆衝突帯の地震活動調査によるプレート構造調査研究

2.2 平成 19 年度の実施計画・進捗状況

(1) 第 1 回運営委員会資料を再掲

地震研究所と調整した結果、横浜市立平戸小学校の 1 カ所の設置を担当する。

現在、横浜市安全管理局の協力を得て横浜市教育委員会施設管理課から、平戸小学校にその旨を伝えてある。9～10 月には現地に赴き学校関係者との設置場所の確定をおこなう予定である。

設置時期は、機器・業者選定の手順を踏んだ後、翌年 1～2 月頃を予定している。

(2) 進捗状況について

- ・ 横浜市立平戸小学校に 1 箇所設置。
- ・ 温泉地学研究所が所有している 1989 年以降テレメータ観測の地震初動読み取り値を中心に他機関データを加えた統一データセットを作成中。
- ・ 次年度の設置候補点との交渉開始。

2.3 平成 20 年度の実施計画

沈み込む前のプレートの構造もしくは首都圏西部の地盤構造の調査に資するデータを得るために、伊豆衝突帯周辺及び首都圏西部（神奈川県）に平成 19 年度の観測点 1 箇所に加え、平成 20 年度は横浜市、藤沢市、相模原市等に 5 箇所設置する予定(図 1)。

2.4 平成 21 年度～23 年度の実施計画

- ・ 平成 21 年度：4 観測点を伊豆衝突帯周辺及び首都圏西部（神奈川県）に設置する。
- ・ 平成 22 年度：高精度震源分布、応力分布、速度構造や S 波スプリッティングなどの解析結果に基づき伊豆衝突帯周辺域の構造モデルを構築する。
- ・ 平成 23 年度：高精度震源分布、応力分布、速度構造や S 波スプリッティングに基づき伊豆衝突帯周辺域の構造モデルを構築する。

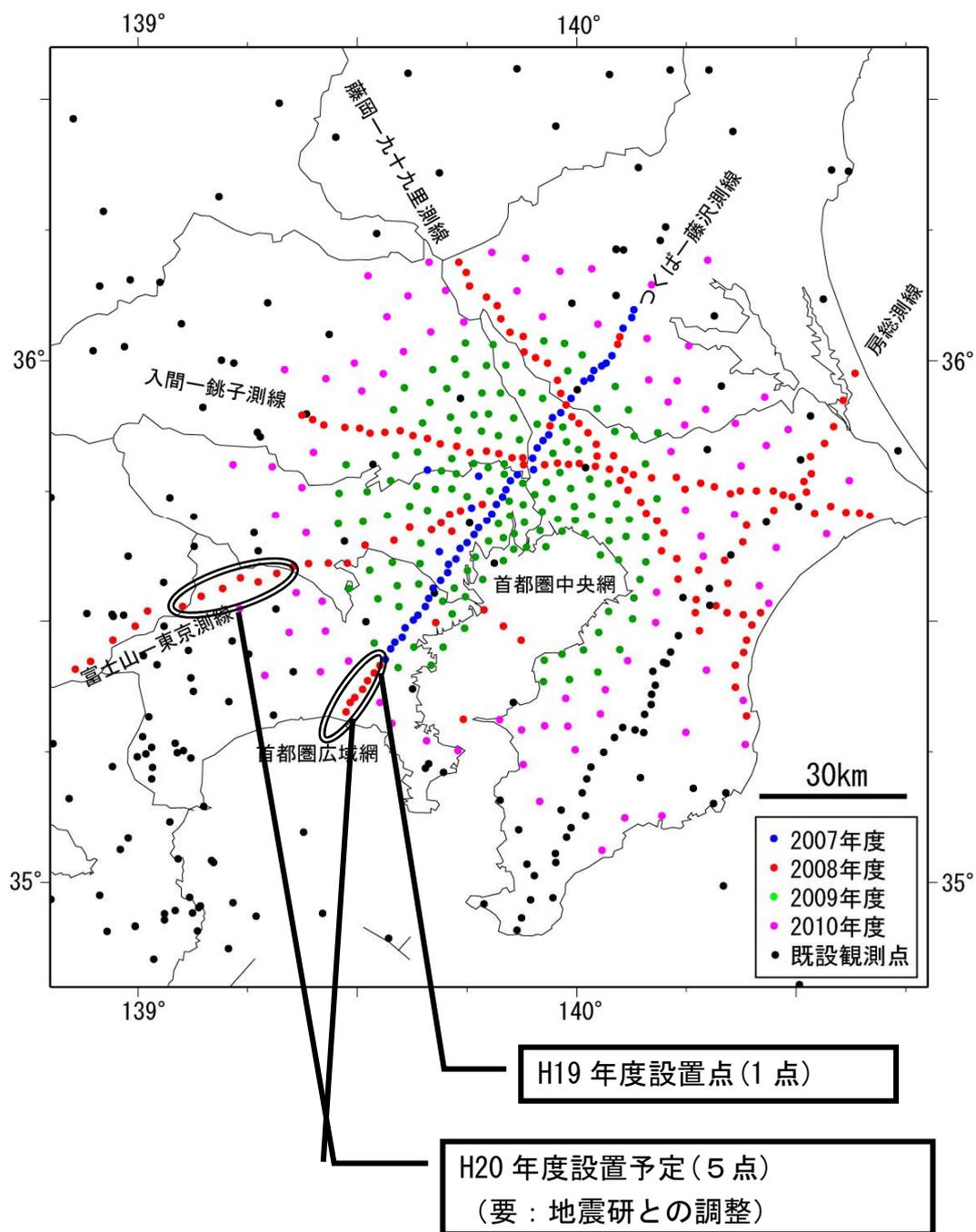


図1 観測点分布